

CONTENTS

| | |
|-------------------------|-----|
| ■ トップメッセージ | 2P |
| ■ 会社概要 | 3P |
| ■ マネジメント | 6P |
| 経営理念／重要課題 | |
| CSR中期計画2018目標／2017目標・実績 | |
| ■ CSRマネジメント | 8P |
| CSR基本理念/CSR方針/CSR推進体制 | |
| ■ 組織統治 | 13P |
| ■ リスクマネジメント活動の推進 | 14P |
| ■ 人権・労働慣行 | 17P |
| ■ 顧客満足(品質) | 21P |
| ■ サプライヤーとの公正な事業慣行 | 22P |
| ■ 社会貢献 | 24P |
| ■ 地域交流 | 25P |
| ■ 環境活動 | 27P |
| ■ 環境データと資料 | 45P |
| 2017年度 環境パフォーマンスデータ | |
| GRIガイドライン対照表 | |
| 外部評価 第三者ご意見・あとがき | |

【編集方針】

ティラドは、社会・環境の取り組みを本誌とHPIにてデータとともにご報告いたします。本報告書には、GRIサステナビリティ・レポート・ガイドラインによる標準開示項目の情報が記載されています。また、本報告書は、関連部署やCSR活動委員会、経営層の承認を経て発行されています。

HP : <http://www.trad.co.jp/>

【対象範囲】

- ・組織：株式会社ティラド、国内・海外連結子会社
- ・活動実績：2017年4月～2018年3月
(海外：2017年1月～2017年12月)
- ・マネジメント：2018年4月1日以降
- ・分野：(経済) 社会・環境的側面

【参考にしたガイドライン】

- ・ISO26000
- ・GRI スタンダード サステナビリティ・レポート・ガイドライン
- ・環境省 環境報告ガイドライン 2012年版
- ・環境省 環境会計ガイドライン 2005年版

SDGs (持続可能な開発目標) : 2015年に終了したミレニアム開発目標(MDGs)に続く、2030年までの持続可能な開発目標。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社會等、以下17の目標が定められています。



ティラドは常に新しい価値を提供する熱交換器メーカーとして社会の持続可能な発展に貢献し、社会課題の解決開発、環境保全活動に取り組み、SDGsの目標達成に寄与してまいります。

すぐれた熱交換器を提供し、 培った技術とサービスで社会の進歩と環境に貢献します

私たちを取り巻く国際社会では、気候変動、自然災害、格差の拡大、貧困・人権問題などグローバルな規模で多くの課題が山積しています。

こうした事態に対し、近年、環境・社会・ガバナンスを重視したESG経営がクローズアップされています。2015年には、国連で『持続可能な開発目標(SDGs)』が採択され、国際社会全体で取り組むことが決まりました。グローバル展開を図っている当社としても、これらに適切に対応しなければならないと考えています。

また、当社の外部環境としては、電気自動車、ハイブリット車の普及が急速に進んでおり、車両の部品構成が大きく変わってきています。車両部品メーカーである当社にとって、これらは重要なリスクであり、また逆に機会(チャンス)としても捉えています。

これらを踏まえ、当社は、2018年4月より、第11次中期経営計画(T.RAD-11)をスタートさせました。計画の一つに『ステークホルダーから信頼される企業』を掲げています。ステークホルダーから信頼されるためには、安全、品質、環境、コンプライアンス、公正・透明性が、重要ですが、とりわけコンプライアンスは不可欠です。

コンプライアンスの取組みでは、全従業員のコンプライアンス意識向上のための階層別教育を徹底して行っています。また遵法体制強化のために、国内各拠点の自主監査、拠点間の相互監査を定期的実施していますが、2017年には、海外子会社にも国内同様の取組みをスタートしており、ティアドグループ全体で、法令違反ゼロを目指しています。

環境への取組みでは、2021年度までに環境貢献商品の売上比率50%以上を目標に掲げています。環境貢献商品とは、電気自動車・ハイブリット車対応商品、燃費向上対応商品、排ガス対応商品などを当社では定義づけていますが、この目標に向かって研究・開発を重点的に行い、より多くの環境貢献商品を市場に供給することが、環境への取組みだけでなく、同時に当社の「リスク・機会」への対応であると考えています。

このように当社は、ESG経営を推進するために、経営計画を通し、ステークホルダーとともに価値を分かち合い、また、本業を通じた地球環境保護、社会的課題の解決に取り組む、『持続可能な世界NO.1熱交換器メーカー』を目指してまいります。

代表取締役 会長(CEO)

嘉納裕躬

代表取締役 社長(COO)

宮崎 富夫



会社概要

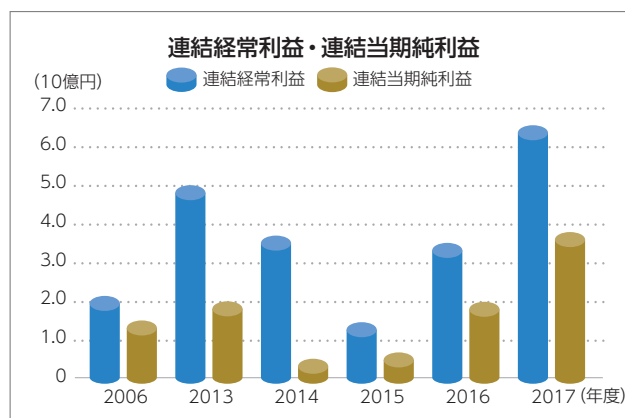
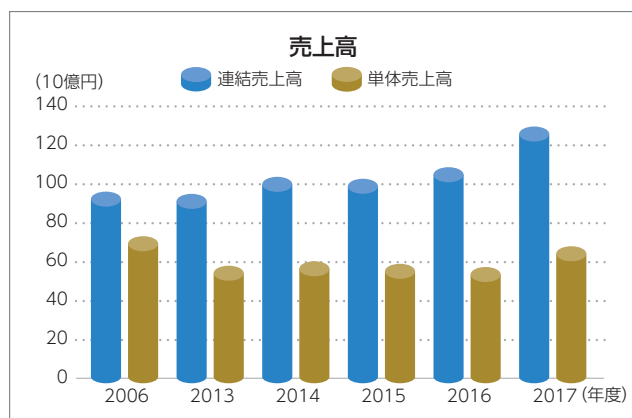
会社名 …………… 株式会社ティラド
本社住所 …………… 東京都渋谷区代々木3丁目25番3号
株式上市 …………… 東京証券取引所市場一部
従業員数 …………… 連結4,485名(海外は2017年12月31日、国内は2018年3月31日のデータ)
 …………… 単体1,555名(国内外への出向者含む)

設立 …………… 1936年11月11日
資本金 …………… 85億4,564万円(2018年3月31日現在)
事業分野 …………… 各種熱交換器の製造と販売

| | 現地採用無期（正社員） | | 現地採用有期 | 日本から出向 |
|--------|-------------|-----|--------|--------|
| | 男性 | 女性 | | |
| 日本 | 80% | 8% | 12% | - |
| アメリカ | 68% | 29% | 1% | 2% |
| チェコ | 45% | 24% | 29% | 2% |
| インドネシア | 80% | 18% | 0% | 2% |
| ロシア | 49% | 45% | 0% | 6% |
| タイ | 58% | 21% | 19% | 2% |
| ベトナム | 76% | 21% | 0% | 3% |
| 中国 | 79% | 19% | 0% | 2% |

団体交渉協定の対象となる従業員比率 …… 70%
作業担当者が自営業者の労働者かどうか …… 否
雇用者数の著しい変動 …… 無し
連結子会社数 …………… 17社
持分法適用関連会社数 …… 2社
単体事業所数 …………… 7
事業所を有している国と数 ……
 日本、アメリカ、チェコ、ドイツ、ロシア、中国、
 インドネシア、ベトナム、タイ、インド(10ヶ国)
重要な変更 …………… 無し
違反に関する罰金等 …………… 無し

販売禁止製品の販売有無 …… 無し
政府からの財務援助、政治献金 …… 無し
負債純資産合計 …………… 94,241百万円
 (純資産46,639百万円、負債47,601百万円)
署名・支持した経済イニシアティブ …… 該当無し
会員資格等 …………… 無し
ステークホルダー・エンゲージメント ……
 株主総会、技術交流会、協力会、決算報告、調達方針説明会、中央
 労懇、トップコミュニケーション(四半期毎に代表者が従業員に経
 営状況等を説明)等



* 上記情報は、2018年5月の情報です。詳細は平成30年3月期決算短信をご覧ください。
http://www.trad.co.jp/manager/wp-content/uploads/2018/05/2017_4Q_201805141.pdf

社名の由来

● 「T.RAD/ティラド」の「T」は、次の3つの「T」を含んでいます。

1. 旧社名「東洋ラジエーター」の伝統と実績を踏まえ「Toyo」の「T」
2. 技術先端企業「Technology Company」の「T」
3. 当社のコア技術である「Thermal exchange（熱交換技術）」の「T」

また、「RAD」は、長年親しんできましたRADIATORの伝統の3文字を引継ぎ、さらに当社の強みである「熱交換システムの技術力」を生かし、独創性あふれる提案によって、輝きつづける存在でありたいという願いをこめて、「RADIATOR」の語源である「RADIANT」（輝く、光を放つ、さん然と輝く）の意味をも包含しています。

1936年 11月11日株式会社東洋ラヂエーター製作所を創立

1937年 川崎工場（のちに製作所に変更）操業開始

1940年 名古屋製作所操業開始

1944年 「東洋冷却器株式会社」へ社名変更



1960年頃の名古屋製作所の大型組み立て・塗装ライン

1951年 「東洋ラヂエーター株式会社」へ社名変更

1960年 秦野製作所操業開始

1962年 川崎製作所を秦野製作所に移転

1969年 東京証券取引所第1部銘柄上場、八日市（現滋賀）製作所操業開始

1985年 名古屋製作所東浦工場操業開始



1986年頃の秦野製作所全景

1988年 アメリカにT.RAD North America, Inc.を設立

1990年 タイに合弁会社TORC Co., Ltd.を設立

1997年 インドに合弁会社TATA Toyo Radiator Ltd.を設立



T.RAD North America, Inc.

1999年 タイにT.RAD (THAILAND) Co., Ltd.を設立

2000年 T.RAD North America Aluminum Div.操業開始

2002年 中国・広東省に東洋熱交換機（中山）有限公司を設立

2004年 チェコにT.RAD Czech s.r.o.を設立



東洋熱交換機(中山)有限公司

2005年 4月1日「株式会社ティラド」へ社名変更、中国・山東省に合弁会社青島東洋熱交換器有限公司を設立

2008年 インドネシアにPT. T.RAD INDONESIA、ロシアにTRM LLCを設立

2012年 中国・江蘇州に東洋熱交換器(常熟)有限公司を設立、ベトナムにT.RAD (VIETNAM) CO., LTD.を設立

2016年 T.RAD North America Inc. がTripac International Inc.を子会社化

2017年 東洋（常熟）熱交換器研发中心有限公司を設立、T.RAD Sales Europe GmbHを設立

2018年 青島東洋熱交換器有限公司を連結子会社化

2018年 合弁会社『株式会社ティラドコネクト』を設立

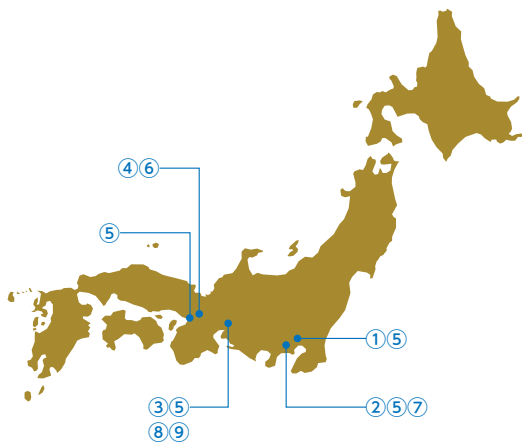


T.RAD (VIETNAM) CO., LTD.

環境マネジメント対象会社 (海外子会社は2017年度に生産活動のある子会社を対象)

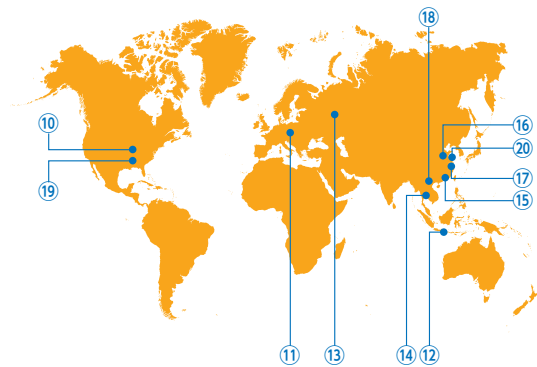
▶ ティラド(単体)

- ①本社 東京都渋谷区
- ②秦野製作所 神奈川県秦野市
- ③名古屋製作所 愛知県知多郡東浦町
- ④滋賀製作所 滋賀県東近江市
- ⑤営業・技術本部 東京都千代田区
神奈川県秦野市
愛知県名古屋市
大阪府大阪市
- ⑥生産技術センター 滋賀県東近江市



▶ ティラド・グループ(子会社)

- ⑦アスニ(株) 神奈川県秦野市
- ⑧東和興産(株) 愛知県名古屋市
- ⑨東和運輸(株) 愛知県知多郡東浦町
- ⑩T.RAD North America, Inc. アメリカ ケンタッキー州
- ⑪T.RAD Czech s.r.o. チェコ ウンホスト市
- ⑫PT. T.RAD INDONESIA インドネシア 西ジャワ州プカシ県
- ⑬TRM LLC ロシア ニジニノブゴロド市
- ⑭T.RAD (THAILAND) Co., Ltd. タイ チャチェンサオ県
- ⑮東洋熱交換器(中山) 有限公司 中国 中山市
- ⑯済寧東洋熱交換器有限公司 中国 済寧市
- ⑰東洋熱交換器(常熟) 有限公司 中国 江蘇省常熟市
- ⑱T.RAD (VIETNAM) CO., LTD. ベトナム ハナム省
- ⑲Tripac International Inc. アメリカ テキサス州
- ⑳青島東洋熱交換器有限公司 中国 山東省 青島市



■ 主要製品

